

NETIS登録番号	技術名称	EMN厚層基材吹付工				
QS-020013-V	副題	イオン効果による団粒化で吹付厚を薄く施工できる工法				
分類1	共通工	法面工	植生工	厚層基材吹付工	キーワード:安全・安心、環境、コスト削減・生産性の向上、公共工事の品質確保・向上	
分類2						
開発目標	経済性の向上、耐久性の向上、周辺環境への影響抑制、地球環境への影響抑制、省資源・省エネルギー、品質の向上					
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術	<input type="checkbox"/> 準推奨技術	<input type="checkbox"/> 活用促進技術	<input type="checkbox"/> 設計比較対象技術	<input type="checkbox"/> 少実績優良技術	
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号:特公平6-51761)				<input type="checkbox"/> なし)	
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	有限会社 九州平仲			TEL	0977-76-2688
	住所	〒879-1301 大分県杵築市山香町大字向野2371-6			E-MAIL	masaki-m.kyusuhiranaka@camel.plala.or.jp
	担当者	松田真樹				
実績件数 H22.3.24現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等	
	289件		1360件		152件	

技術概要: (300字以内)

カチオンイオン樹脂の効果作用により、土壌粒子のマイナスイオンと土壌粒子のマイナスイオンの間にプラスイオンのカチオンイオン粒子が浸透し、浸透した土壌を強力に結合(団粒化)し法面表層部と植生基盤材を安定させる。
 これにより法面表層部と植生基盤材の流出を防止し、尚且つ通気性透水性に優れる事から植生に優れる。
 団粒化により基盤層の劣化が少ない為、従来の植生基材吹付工が植生するまでに基盤材表層が滑落する分だけ従来の吹付厚より薄く施工出来る。
 従来の接着剤の代わりにEMNコート21を入れ代えるだけなので、種子吹付工、客土吹付工の浸食防止にも使用出来る。
 種子を配合しなければ仮設の浸食飛散防止にも使用出来る。

施工事例



浸食しやすいマサ土盛土法面を従来工法植生シート工(写真左600円/㎡)で施工したところ、降雨により浸食を受け土砂が流出している。
 同路線内のマサ土盛土法面をEMNコート21を配合したEMN種子吹付工(写真右365円/㎡)を施工したところ、浸食を受ける事無くムラなく植生に成功した。



浸食しやすい砂質切土法面での施工事例である。
 写真左 右法面は従来工法植生マット工(1700円/㎡)であるが、浸食しやすい砂質土壌の為土砂が流出し植生不良になっている。
 写真左 左法面はネット張りEMN客土吹付工t=1cm工法(1540円/㎡)であるが、浸食を受ける事無く安定して植生している。
 写真右は手前未施工区と奥ネットEMN客土吹付工t=1cm工法である。未施工区は浸食を受け土砂が流出しているがEMN工法は全く浸食を受ける事無く植生している。



下段法面は従来工法植生基材吹付工である。植生基盤材が流出し植生がムラになっている。
 上段法面はEMN厚層基材吹付工である。植生基盤材が流出する事無くムラ無く植生している。



下段法面は従来工法植生基材吹付工t=3cm(3050円/㎡)である。肥料要求度の高い外来草本植物が繁茂していることから、植生が衰退している。
 上段法面はEMN客土吹付工t=2cm(1980円/㎡)である。生育基盤が安定且つ通気性透水性が良好な為、生育の遅い郷土植物が繁茂している。



従来配合されている接着剤の代わりにEMNコート21を配合するだけで、通気性透水性に優れ強力に浸食飛散防止が可能EMN吹付工法になります。
 施工機械も施工方法も管理方法も従来通りですので、特殊な機械や技量も必要ありません。